

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
社会	2・東書 新しい社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「〇年生で学んだこと」「〇年生で学ぶこと」、巻末に振り返りに関する頁が用意され、見通しをもって学習したり、学んだことを適切に振り返ったりすることができるような構成となっている。</li> <li>○問題解決の過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」として明確に示すとともに、「まなび方コーナー」を設けて技能の定着に配慮している。</li> <li>○「まとめる」の頁では、登場人物の考えやノートの例が提示され、これらをもとに話し合ったり、図表にまとめたりする活動を通して多角的に考える力を養えるように工夫されている。</li> <li>○「いかす」の過程で、自分にできることを考えたり、選択・判断したりできるように工夫され、社会参画を意識した構成になっている。</li> <li>○各大単元の導入の見開き頁には、「学習のめあて」が示され、小單元ごとに児童相互での話し合いの場を提示し、多角的に考えられるよう配慮されている。</li> <li>○4つの視点（位置や空間的な広がり）（時期や時間の経過）（事象や人々の相互関係）（比較・分類・総合・関連付け）をイラストで区別したり、4つの視点に関連した具体的な問いを設定したりすることで、児童が社会的な見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの段階において、話し合いや討論の場を提示し、対話的で深い学びにつなげるような工夫が見られる。</li> <li>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、様々な方法で学習問題を追究していくことができるような工夫が見られる。</li> <li>○学習箇所によりデジタルコンテンツが用意されている。</li> <li>○選択教材では、主に2つの事例を小單元として設定し、共通して活用できる頁を除くと同じ分量にまとめられている。</li> <li>○單元名や学習展開を色分けして示してあり、本時の学習課題が文節の区切りで改行され、児童が的確に読み取れるような工夫が見られる。</li> <li>○5・6年生は2冊に分冊され、軽量化の工夫が見られる。</li> <li>○6年生は、「歴史編」「政治・国際編」に分かれている。</li> </ul>